

## 福祉のまちづくりを推進します

### 平成22年度決算・平成23年度予算が承認

東成区社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりに向けて、地区ネットワーク委員会活動やふれあい型高齢者食事サービス事業等の住民主体による地域福祉活動の推進に加え、地域包括支援センターや高齢者通所介護事業等の介護保険事業の運営、子育て活動支援事業の実施、東成区老人福祉センターの運営等、さまざまな事業に取り組んでいます。時代の社会情勢に応じ、福祉課題の発生を予防し、早期発見や対応ができるような「つながりの再構築」を目指して、地域福祉活動の推進に努めてまいりますのでご理解とご協力をお願いします。

去る、3月28日と5月28日に開催された理事会・評議員会において、それぞれ平成23年度予算・事業計画並びに平成22年度決算・事業報告を審議し、承認されました。

平成22年度決算

平成23年度予算

収入の部		
<b>〔経常活動による収入〕</b>		
勘定科目	決算額	備考
会費収入	3,545,380	組織構成会員会費、賛助会員会費等
寄附金収入	2,116,720	善意銀行・福祉募金
交付金収入	69,749,000	市からの交付金
経常経費補助金収入	27,219,579	市・市社協からの補助金
助成金収入	633,875	市社協からの事業(活動)助成金等
受託金収入	127,890,921	市からの事業委託金
事業費収入	320,750	事業実施における利用者負担収入等
共同募金配分金収入	7,411,218	共同募金配分金
介護保険収入	78,202,553	デイサービス・新予防給付プラン等介護保険収入
雑収入	247,102	実習生受け入れ諸経費等
受取利息配当金収入	2,831,938	預金利息等
経理区分間繰入金収入	2,108,781	
経常収入計	322,277,817	
<b>〔施設整備等による収入〕</b>		
施設整備等補助金収入	0	
施設整備等寄附金収入	0	
固定資産売却収入	0	
施設整備等収入計	0	
<b>〔財務活動による収入〕</b>		
積立預金取崩収入	72,115,474	基金(国債の満期による運用)及び60周年記念事業経費
財務収入計	72,115,474	
<b>支出の部</b>		
<b>〔経常活動による支出〕</b>		
勘定科目	決算額	備考
法人運営事業	68,068,308	法人運営事務費等及び交付金(人件費)※社会適応訓練事業含む
助成事業	8,781,219	高齢者食事サービス事業、寝具洗濯・乾燥事業等
区社協管理運営事業	8,192,000	交付金(物件費)
共同募金配分金事業費	7,411,218	地域配分金・高齢者月間行事助成金・広報費等
地域福祉推進基金事業	905,117	ボランティアビューロー運営事業費・事務費等
地域福祉活動推進事業	19,391,000	ネットワーク委員会事務費・地域福祉活動補助金等
善意銀行事業	357,018	その他事業への繰入・払出等
あんしんさぼーと事業	225,200	あんしんさぼーと事業費・事務費等
地域包括支援センター事業	60,185,518	地域包括支援センター運営費・人件費等
介護予防事業	16,370,819	介護予防事業費・人件費等
通所介護事業	27,039,632	デイサービス事業の運営費・人件費・管理費等
居宅介護支援事業	43,695,261	居宅介護事業費・人件費等
老人福祉センター事業	20,767,466	老人福祉センター事業の運営費・人件費・管理費等
子育て活動支援事業	29,098,684	子育て活動事業費・つどいの広場事業費・人件費等
その他事業(福祉募金事業等)	2,210,148	各校下社協への配分金等
経常支出計	312,698,608	
<b>〔施設整備等による支出〕</b>		
固定資産取得支出	1,218,605	大型遊具・ソフトウェア・大型看板設置等
施設整備等支出計	1,218,605	
<b>〔財務活動による支出〕</b>		
積立預金積立支出	75,831,165	基金(資金運用)及び積立預金
流動資産評価減等による資金減少額等	0	
財務支出計	75,831,165	
当期資金収支差額合計	4,644,913	
前期末支払資金残高	88,638,064	
当期末支払資金残高	93,282,977	

収入の部		
<b>〔経常活動による収入〕</b>		
勘定科目	予算額	
会費収入	3,569,000	
寄附金収入	2,006,000	
交付金収入	69,879,000	
経常経費補助金収入	22,300,000	
助成金収入	100,000	
受託金収入	139,398,016	
事業費収入	510,000	
共同募金配分金収入	6,221,000	
介護保険収入	75,610,000	
雑収入	240,000	
受取利息配当金収入	1,316,000	
経理区分間繰入金収入	1,674,000	
経常収入計	322,823,016	
<b>〔施設整備等による収入〕</b>		
施設整備等補助金収入	0	
施設整備等寄附金収入	0	
固定資産売却収入	0	
施設整備等収入計	0	
<b>〔財務活動による収入〕</b>		
積立預金取崩収入	0	
財務収入計	0	
<b>支出の部</b>		
<b>〔経常活動による支出〕</b>		
勘定科目	予算額	
法人運営事業	64,780,000	
助成事業	9,380,000	
区社協管理運営事業	7,972,000	
共同募金配分金事業費	6,221,000	
地域福祉推進基金事業	1,311,000	
地域福祉活動推進事業	14,339,000	
善意銀行事業	150,000	
あんしんさぼーと事業	225,000	
地域包括支援センター事業	64,253,000	
介護予防事業	21,720,016	
通所介護事業	27,494,000	
居宅介護支援事業	41,810,000	
老人福祉センター事業	22,250,000	
子育て活動支援事業	30,041,000	
その他事業(福祉募金事業等)	2,086,000	
経常支出計	314,032,016	
<b>〔施設整備等による支出〕</b>		
固定資産取得支出	1,170,000	
施設整備等支出計	1,170,000	
<b>〔財務活動による支出〕</b>		
積立預金積立支出	3,300,000	
流動資産評価減等による資金減少額等	0	
財務支出計	3,300,000	
当期資金収支差額合計	4,321,000	
前期末支払資金残高	90,232,564	
当期末支払資金残高	94,553,564	

### 賛助会員 “あなたとつくる福祉のまち”

東成区社協の財源は、公費補助金、共同募金配分金、会費収入などです。

賛助会員のみなさまからの会費収入は、安定した自主財源として、区社協の事業・活動に欠かせないものです。

東成区社協の活動の趣旨にご賛同いただき、賛助会員として支援してくださる方を募集しています。多くのみなさまの入会をお願いいたします。

個人会員 1口 1,000円  
 団体会員 1口 5,000円  
 法人会員 1口 5,000円  
 いずれも年額、口数に制限はございません。

### 善意銀行

広く区民のみなさまから、善意によるご寄付を受け、地域福祉の向上のために有効に活用することを目的として、区社協では“善意銀行”を開設しています。

★こんな方からご寄付をいただいています★

- 地域福祉向上のために、金品を寄付したい方
- 冠婚葬祭のお祝いや香典に対する一部を寄付したい方
- 募金活動やチャリティーバザーなどの収益を福祉に役立てたいと希望された方
- 社会貢献活動に取り組む企業・労働組合

※善意銀行へのご寄付は、税制上の寄付金控除の対象となります。

平成22年度 善意銀行寄付者一覧  
 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(株)ビューティサロンナカノ吉田悦治(2回)、  
 第一生命労働組合布施支部、  
 城南あおぞらねっとわーく、前田 茂、  
 大阪第一教会、東成会、匿名8件(以上敬称略)  
 物品寄付 車イス1台含む 計15件  
 合計 ¥260,185-

### 地域包括支援センター

地域包括支援センターは、介護や健康、福祉、虐待防止、権利擁護など高齢者の暮らしにかかわるあらゆる相談や問題に対応する総合相談窓口です。 ☎6977-7031

地域包括支援センターでは、介護保険の対象になっていない方を対象に、二次予防事業（運動教室等）の参加をすすめています。今回は、今年度より少し変わりました二次予防事業について紹介します。

### 介護予防事業が変わりました!

今年度より「二次予防事業」と名称が変更されました。「二次予防事業」とは、年齢を重ねても自分らしく「はつらつ」とした生活をおくっていただくため、生活機能の低下によって要支援、要介護になるおそれのある方を対象に予防をするための事業です。（65歳以上の方）

#### 「はつらつシニア教室」 （複合型プログラム）

- ・「運動プログラム」=20回
  - ・「栄養プログラム」=3回
  - ・「口腔プログラム」=3回
- 合計26回  
(週2回)

各教室のプログラムを一体的に実施することで、より効果的な介護予防を行います。



#### いきいき運動教室 （運動器の機能向上事業）

マシンを使った運動やイスに座ったままできる簡単な体操をします。



#### いきいき栄養教室 （栄養改善事業）

バランスの良い食事内容などを学び、栄養状態の改善をめざします。



#### いきいき口腔教室 （口腔機能向上事業）

お口の体操や唾液腺のマッサージの仕方など、楽しくお口の機能向上をめざします。



「はつらつシニア教室」への参加には**基本チェックリスト**の実施が必要です。教室に参加して自分らしい、はつらつとした生活を送ってみませんか？ご相談、お問い合わせ、お待ちしております。

問合せ 東成区在宅サービスセンター ☎06-6977-7031

### ボランティアビューローだより

#### おもちゃドクター 養成講座

めざせ、おもちゃ修理の達人

子どもが好き、機械いじりが好き、おもちゃが好きという方、おもちゃのお医者さんになって、「こわれたおもちゃを子どもたちの目の前で直してあげる」「おもちゃに新しい命を与え、物を大切にすることを伝えていく」そんなボランティア活動をしませんか。

開催日時 1回目 8月27日(土) 午後1時~3時

講義 ①おもちゃドクターとは  
②最近のおもちゃとおもちゃ病院 他  
午後3時~5時

実習 ①ハンダ付け  
②断線の見つけ方と電圧の測定 他

2回目 9月3日(土) 午後1時~5時

実習 ①おもちゃの修理実習

3回目 9月10日(土) 午後1時~5時

見学実習 ①すみよしおもちゃ病院の見学と実習

開催場所 東成区在宅サービスセンター 多目的室

定員 20名(先着順)電話にて申込み

申込み問合せ 東成区社会福祉協議会 ボランティアビューロー ☎06-6977-7031

## 座談会 「障害のあるなしで区別せず、一緒に過ごして顔の見える距離で。」



#### 座談会参加者

- 川上 由夏 (精神障害者地域生活支援センター すいすい)
- 山野 幸子 (大成地区ネットワーク推進員)
- 西口 昭子 (自立生活センター・おおさかひがし)
- 野坂万喜子 (東中本地区ネットワーク推進員)
- 神田 里美 (自立生活センター・おおさかひがし)
- 司会 石川 洋志 (東成区社会福祉協議会) <順不同>
- 山下 美保 (東成育成園 てくてく)

#### 地域との関わり

**司会** おはようございます。連携会議をはじめきつかけとつながった声を発した一人の川上さんから感想を聞かせてください。

**川上** すいすいの立ち上がりで、コンフリクトの問題があつて、どうすれば地域の中で解決へ向かうのかが見えてこない中10年が過ぎ、たまたま知り合いの野坂推進員さんと会議で同席したときに、精神障がい者支援の立場から協力してもらえたりこちらができることがあるのかなと発言したのがきっかけでした。子どもの虐待やごみ屋敷の問題は、実はそこには障害の人たちが関わっていることも多く、私たちが地域の中で役に立てることもあるのかもしれないと思つています。

**司会** 東中本地区ネットワーク委員会では、川上さんから精神障がいについての話を聞いたことがありましたが、そのときの様子はどうでしたか。



**野坂** 精神障がいの話を聞いて、排除ではなく歩み寄れる何かを持つて欲しいという思いでお話を聞いていました。聞いた方の感想は、今までは、暮らしてきた生い立ちやしつけが障がいの原因だと考えていた人も多かったようで「そうか、病気のなかか」という声を聞きました。

**西口** これまで、障がい者特別な存在として捉えてきたことが、障がい者への理解を難しくしていると思えます。小さいときに一緒に遊んでいる子どもたちは障がい者を特別な存在だと分けて捉えていないですよ。

#### 分けることの弊害

**西口** 分けることで、つながったものが離れてしまう。だから理解できないのは当然です。

**司会** 普段の経験やつながりがないと、子どもたちも、障がい者を特別な存在として分けて考えてしまうようになってしまいますね。

**山下** 育成園に通う利用者の親御さんから、小中学校を地元元々の学校に通っていたので高校で離れた時にコミュニケーションをとっていたと聞くことがあります。

相談支援で関わっている方で昔から地域に住んでいる人は、必要最小限の部分では近隣とながっているの、向かいの方や隣の人は、その方が障がいをしていることを知っていて、何かあったときは気にかけてくれているようです。

**司会** 聴覚障がいの方を近隣の方がサポートしていたが、その近隣の方が体調を崩し、推進員さんに相談するケースがありました。地域でサポートする人が一人では、限界が来てしまいます。又、障がいが原因で情報を得にくくなることも多いと聞きます。

**川上** 聴覚障がい者で手話のできる精神保健福祉士のグループを知っています。相手の希望があれば訪問もしてくれるし、困っていることや情報不足の部分に寄り添えることもありえると思います。

**野坂** 初めて聞ききましたね。

**山野** 施設があることは知っていても何をしているところか分からない方も多いと思います。今回のリーフレットは皆に知ってもらいたい機会になればと思っています。

それと、分けて考えていると知り合う機会が遠ざかりますね。

**司会** 親や当事者が抱え込んだり抱えきれなくなることにについてどう考えますか。

**川上** 子どもに障がいがあつて、親が抱え込んでしまうケースでは、親御さんが高齢になり抱えきれなくなつて支援を求めるケースが多いです。これまでの経験をもとで、親は先に亡くなつたのですが、親は先に亡くなつてしまつたのでそのとき子どもが一人で生きていけるようになつたり作つておいてくださいと、お伝えしています。

**山野** 以前に会議で、どこに障がい者が暮らしているのか分からない(開示がない)のに助けようがないという意見を聞いたことがありませんか。

とがあります。その反面、情報をもらったとして何ができるかも難しい問題があります。

**司会** 親が亡くなつたあと、子どもたちがどのように暮らしていくのかをイメージしながら、地域との関わりを、お互いに考えていくことは大切だと思えます。

**神田** ここまでよく暮らしてきたねというケースがもつとあるかもしれないですね。

**司会** ぎりぎりまで支援を求めないで、自力で、あるいは隣近所に支えられて生きるという地域性があるのかもしれないですね。東中本のある町会は町会加入率が50パーセントを切つたと聞きました。

**山野** 大成では、民家が密集しているような地域でも70パーセントの加入率です。

**川上** 障がいのある人が、市営住宅に入つてアルパイトのお金で何と独立して暮らしたいと考えてる人も多いのですが、市営住宅に入居したら班長の当番がすぐに回つてくるという噂があつて、敬遠する人がいます。コミュニケーションが苦手な人が多いので、町会費を集めに回つたりするのはできないと思つてしまつたりするかもしれません。

**司会** 障がいをサポートするメンバーは、まちの変化をしつかり見ておくことも大切ですよ。

**山野** 町会に入ると煩わしいこともあるでしょう。だけど、防犯灯ひとつにしても町会が設置して電氣代も町会費からまかなつています。公園清掃、防災活動等、色々なことも回覧版がないと自分のまちの情報は分

かりません。大成地域PTAの発行する新聞に地域の情報を入れてもらっています。すると、若い世代の町会に入っていない人たちも地域の情報が届くので、**司会** ここ10年で東成区でもマンションが建つなどして、区外から移り住んできた世帯も多くなつています。

**山野** 町会活動に参加すれば、地域も子どもをしつかり見守つてくれますね。

**司会** 町会活動の掃除に参加するときは、必ず障がいのある子どもを連れて参加するという話がある方から聞いたことがあります。地域との接点を持たせたいという親の思いですね。

**川上** 私も用事があるときには、息子に町会の掃除に出してもらつています。

#### 情報の共有・アピールが大切

**司会** 今、地域と障がい者相談事業所が同じテーブルで話をし、リーフレットと一緒に情報を載せることができたことは前進だと思えます。

**西口** 私の住むマンションの掲示板に連携会議のリーフレットが貼られられています。

**山野** それぞれのネットワーク委員さんにも相談支援事業所のことは知ってもらつていければいいですね。

**川上** 当事者の方も、一度見て知っていて、立ち行かなくなつ

たときに思い出ししてもらえればいいですね。

**神田** 支援を受けることに迷惑をかけて心苦しいという思いをもっている障がい者もいます。だから、仲間を作る場としての紹介をしてもらえればいいのかもかもしれません。一緒に買い物に行つたり、楽しいことをする友達つくりの場があるよと。

**西口** 一緒に学校に通っていると、友達の間で互いに助け合える関係ができます。小さい頃から一緒に過ごすことで自然と支援

できたりもするものです。

**司会** 障害のあるなしは別にして、一緒に過ごして顔の見える距離で、その人として存在するということが大切ですよ。

今後、どうやってそのことを伝えていきたいと思いますか。

**神田** ネットワーク委員会という住民組織が、一番地域の課題を知っているのかなと思うので、課題を整理しつつ、つながつて連携を広げていけたらいいと思います。

**山野** 地域ケアネットワーク連絡会の中で、リーフレットを活用して学習会をし、各委員さんの活動のヒントになるようにし

てはどうかと思えます。

**川上** 相談できるところが地元にあつて、推進員さんやネットワーク委員会が連携をとつて考えていることをアピールすることには非常に大事なことだと思えます。ネットワーク推進員さんは地域に暮らしている人で、その人たちと話ができる機会はとても大きいと思つています。他の区にも、一緒にこんなことができるのだと思つてくれたらいいですね。

**司会** 暮らしの場に、どうアピールし、どうつながっていくことができるのかを考えながら一緒に進めていきたいと思います。

# 東日本大震災における 東成区社会福祉協議会の支援活動

東日本大震災でお亡くなりになった多くの方々のご冥福と、いまも行方がわからない方々の安否が一日も早く明らかになることを心からお祈り申し上げます。そして不自由な避難生活を強いられている多くの方々の生活の再建のために、できる支援を継続的に取り組んでまいります。

## 東日本大震災の復興の現況

生活の再建に向けたライフラインの復旧、仮設住宅の建設、義援金の支給なども、ようやく進み始めましたが、不自由な避難生活を強いられている方々は、まだ大勢おられます。せっかく仮設住宅に入れることになっても一定の生活の自立を求められ、避難所と比較すると情報や食料の入手が困難になるため入居を躊躇される高齢者の世帯なども出ています。地域によって復興の進捗に差が生じており、原発事故の解決をはじめとして、福祉的な支援が必要な高齢者・障がい者・児童等の生活再建、地元医療機関の再開、就労支援、学校の再開などが大きな課題になっており、引き続き息の長い支援が必要です。

## 募金活動への参加

「地下鉄今里駅前・スーパーライフ前」(4月1日、募金額55,576円)、「JR環状線鶴橋駅前」(4月4日、募金額39,130円)で実施された募金活動に参加しました。また、募金箱(113,712円、6月3日現在)を区在宅サービスセンター・子育てプラザ・老人福祉センターに設置し東成区役所を通じて日本赤十字社へ寄付しました。そのほか大阪市社協が市内各所で実施した募金活動の「上本町駅前」(3月25日)実施分に参加しました。

## 大阪市に避難された被災者への支援物品の募集と配付

市営住宅へ避難された方々へ必要な生活用品・電化製品の提供を「東成工業会」、「各校下社協」へお願いさせていただきましたところ、たくさんのお申し出がございました。これらの支援物品は大阪市社会福祉協議会を通じて、避難された方々にお届けするとともに、支援物品の一部は平成23年4月17日(日)大阪市社会福祉研修・情報センターにて開催されました「がんばろう東北 住民のつどい」交流会において直接、お渡しさせていただきました。

ご協力いただきました企業様、地域団体様、誠にありがとうございました。

### ご協力いただいた企業・地域団体

株式会社ティビヨウ様	有限会社ケイエスシステム様
東亜精機工業株式会社様	株式会社奥村坩堝製造所様
大光電機株式会社様	東中本地区ネットワーク委員会様
太平工業株式会社様	今里地区ネットワーク委員会様
浅井シーアール製作所様	

(お申し出順)

### ご提供いただいた物品

液晶テレビ、電子レンジ、ポット、炊飯器、冷蔵庫、洗濯機  
タオル、毛布、ふとん、マスク 等

## 宮城県内災害ボランティアセンターへの応援職員の派遣

被災地域の地元社協から宮城県社協を通じて応援派遣要請があり、現在まで4人の職員を派遣し災害ボランティアセンターの運営などの支援を行いました。時期に応じて災害対応の支援、また災害対応から通常業務への移行に向けた支援を行いました。

### ①「仙台市若林区災害ボランティアセンター」4月7日(木)～14日(木)

現地で活動している支援者たちの前向きなパワーを感じながら、被災住民の泥出し等のニーズに対して、ボランティア活動希望者をマッチングする役割を担いました。

### ②「仙台市災害ボランティアセンター」4月27日(水)～5月4日(水)

区・市・県の災害ボランティアセンター間の連携、情報共有の必要性を感じながら、社協職員の応援派遣に関して市災害ボランティアセンターと津波災害に特化した北部・南部津波災害ボランティアセンターとの調整役を担いました。

### ③「気仙沼市災害ボランティアセンター」5月21日(土)～28日(土)

「津波で会社が流され、することがない」と言いながら活動する人、力仕事をメインに活動する男性チームなど多様な活動者がいるなかで、被災住民からの泥出し等のニーズとボランティア活動希望者とのマッチング役を担いました。

### ④「気仙沼市災害ボランティアセンター」6月6日(月)～14日(火)

震災後3か月が経過し、被災住民が避難所から仮設へ住まいを移す中、気仙沼市社協がどのような支援を行っていく必要があるのかを、さまざまな災害支援団体の人たちと話し合うなど、地域支援に向けた調整役を担いました。



市民センターに開設された災害ボランティアセンター



活動希望者へ注意事項を説明



プレハブ事業所で開設された津波災害ボランティアセンター

「東日本大震災 復興支援」  
普段のつながりは災害時助け合い活動の底力!

## 「このゆびとーまれ」講演会

赤ちゃんからお年寄りまで共に生きる東成に!  
～障害があってもなくてもともに～

**日時** 平成23年9月17日(土) **入場無料**  
午後0時45分～5時(開場:正午～)

**会場** 東成区民センター大ホール  
(参加ご希望の方は直接会場へお越しください)

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>1部</b> 舞台発表(午後0時45分～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トーンチャイム (ふりーすぺーすSUN)</li> <li>・民謡(朝路会)</li> <li>・ブラスバンド演奏(本庄中学校)</li> <li>・韓国舞踊(李綾子韓国伝統舞踊研究所)</li> </ul> | <p><b>2部</b> 「このゆびとーまれ」講演会(午後2時～)</p> <p>特定非営利活動法人<br/>このゆびとーまれ<br/>理事長 惣万佳代子さん<br/>副理事長 西村和美さん</p> |
|--|---|

富山県で実践されている

「このゆびとーまれ」は赤ちゃんから高齢者まで障害の有無に関係なく利用できる場所です。今回「このゆびとーまれ」の共生の実践から、東成区における共生のまちづくりを一緒に考える機会を持ちたいと考え講演会を企画しました。多くのおみなさんご参加をお待ちしています。



お問い合わせ：東成区社協(6977-7031)・まんま(6972-6036)  
主催：社会福祉法人 大阪市東成区社会福祉協議会  
特定非営利活動法人 みんなの手 みんなの家まんま  
「このゆびとーまれ講演会」実行委員会2011  
後援：大阪宅老所グループホーム連絡会、東成母子会、  
東成区人権啓発推進協議会